

南篠崎小学校応援団実践報告書

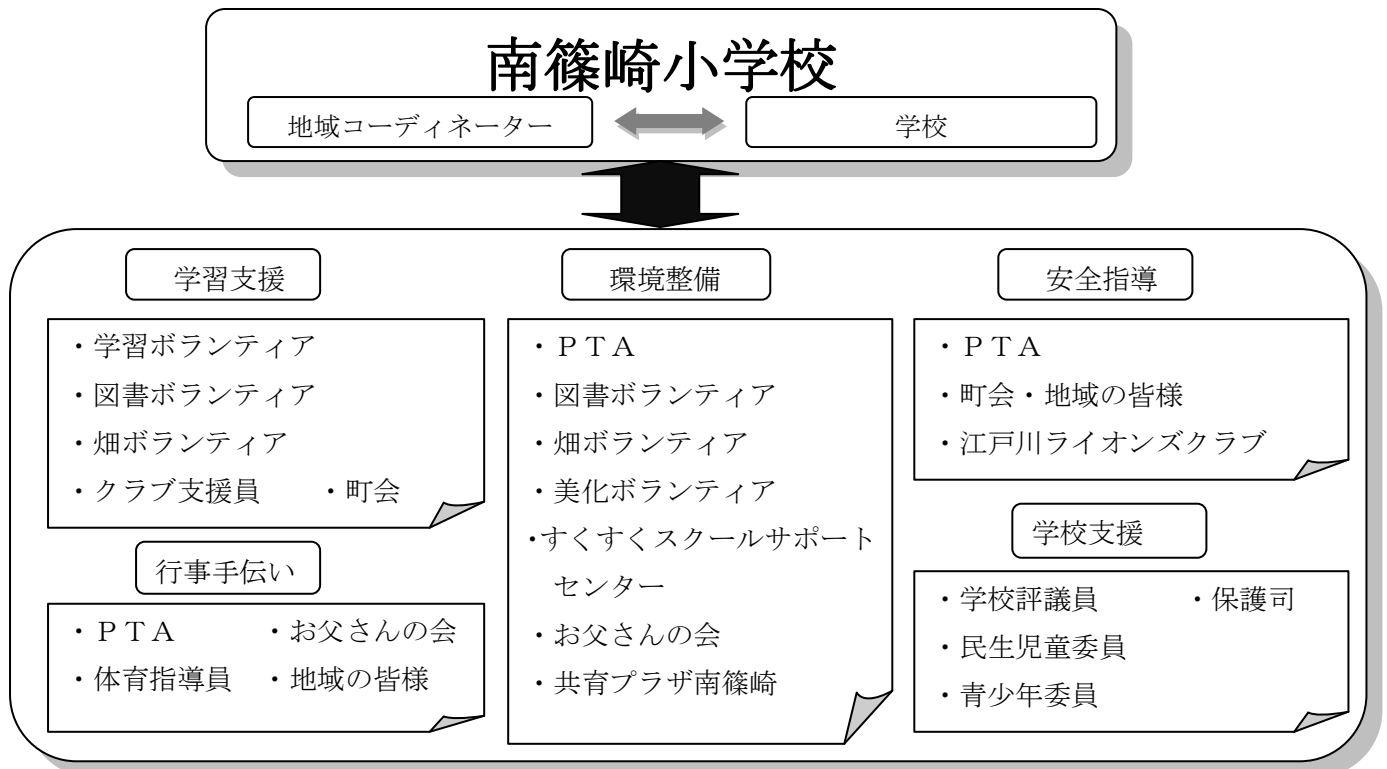
1 校長及びコーディネーター氏名

南篠崎小学校長 梅 澤 文 彦
コーディネーター 神 津 紀 子

2 今年度の活動内容

活動分野	活動内容
学習支援	○ 生活、家庭等の授業補助 ○ クラブ活動の支援 ○ 読み聞かせ
環境整備	○ 畑の整備と運営補助 ○ 図書整理、図書室装飾 ○ 美化活動
安全指導	○ 登下校見守り ○ 交通安全教室 ○ 薬物乱用防止教室
行事手伝い	○ 運動会の準備・片付け・パトロール ○ 体力テストの補助 ○ 和太鼓の運搬
学校の支援	○ 学校評価 ○ 相談・健康サポート

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- 学校応援団会を1学期に開き、自己紹介、活動紹介、予算の説明などを行った。お互いの活動内容がわかってよかった。
- 図書ボランティアによる読み聞かせや図書整理、図書室装飾が充実していた。
- 学校農園については、毎月「畑会議」を開き関係機関や畑ボランティアと打ち合わせをしている。学習の場としての「農園」を有効に活用できた。
- 町会から1, 2年生の生活科「昔遊び」において協力をいただいた。
- 各団体によるイベントも多く、児童は様々な体験ができた。

<課題>

- 社会科や総合的な学習の時間に協力していただけるゲストティーチャーのリストを作成し、年間計画の中に位置付けていく。
- 児童の安全見守り隊やあいさつ運動をさらに拡大する。

5 コーディネーターより

コーディネーターとしての仕事はあまりできませんでしたが、学校応援団の様々な活動を通じて、学校を中心とした保護者、地域の皆様との協力が子供たちの未来を育てていくものだと実感しました。今後も学校の教育活動に少しでも協力できればと思います。

6 学校長より

本校のボランティア活動の立ち上げは古く、現在においても図書ボランティア「クローバー」による「読み聞かせ」は脈々と続いており、子供たちの楽しみにしているイベントの一つである。

この他にも畑ボランティア「ハッピーグリーン」をはじめとした、たくさんのボランティア団体もあるが、特筆すべきは4年前に、学校農園に隣接する空き地を学校・すくすくスクール・共育プラザの三者で共同開発した「みんなニコニコみどりの農園」活動であろう。その畑は3分割され、すくすくスクールは四季を通じて、草花・夏野菜を、共育プラザは「藍染め」の「藍」を、学校は果樹園として、「桑」「梅」「栗」等の栽培をしている。

そして、すくすくスクールでは、収穫したスイカで「スイカ割り」を企画・実施しその活動を広げることができた。また、学校では3年生の「昆虫」の学習で、かいこの飼育に必要な「桑の葉」を自給自足することができた。さらに、自然観察に訪れる子供たちは四季折々の実り（桑の実・ブルーベリー・ラズベリー・ミニトマト）等を味わうこともできた。

このように、これらの活動は子供たちの楽しみにしているものとなり本校の教育活動のスタンダードになってきた。

今後とも学校応援団という組織を生かし、各ボランティア団体と連携をとりながら、子供たちにさらに豊かな体験活動を積ませることによって、たくましくすこやかな心を育てるとともに、南篠崎という地域の一員としての自覚と誇りを持たせたいと思っている。

